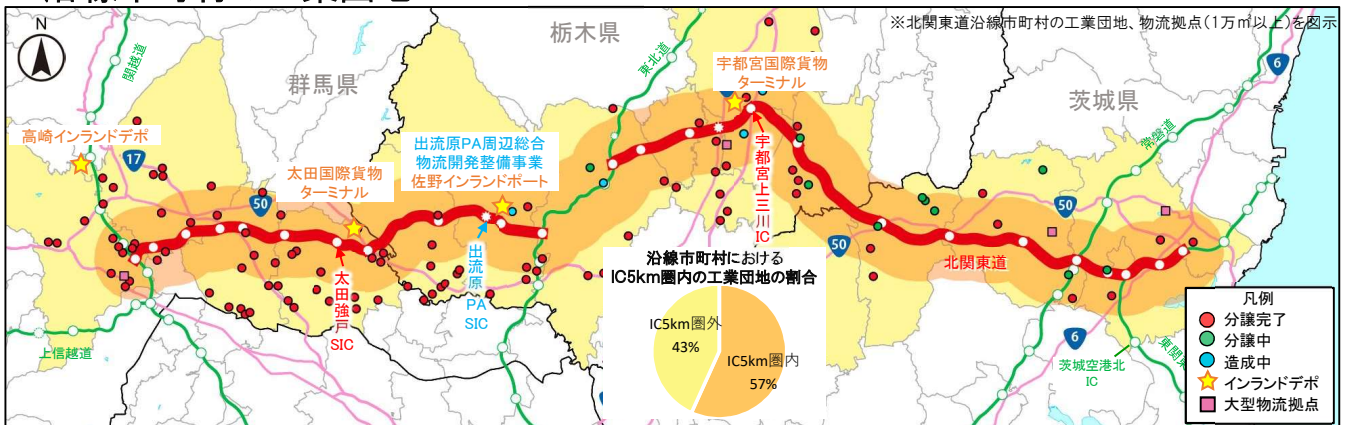


北関東道沿線で進む工場立地

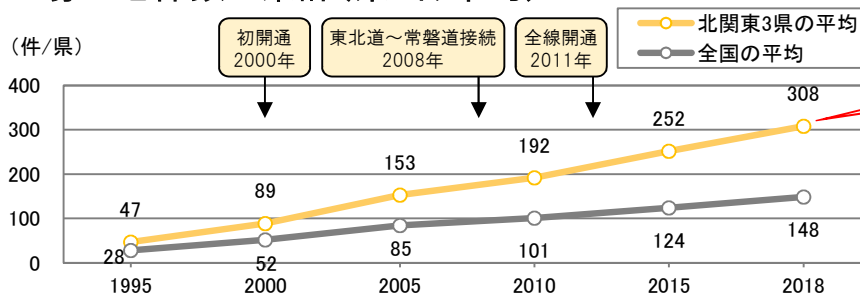
関越道、東北道、常磐道と接続し、港湾にも直結する北関東道を軸に**産業集積が進展**し、工場立地件数は全国平均の**約2倍**沿線インランドデポの活用による**輸送効率化**に寄与

沿線市町村の工業団地



工場立地件数の累計(県当り平均)

出典：国土数値情報(工業用地、物流拠点)、Jビジネス土地ナビ(経済産業省)、各県HP



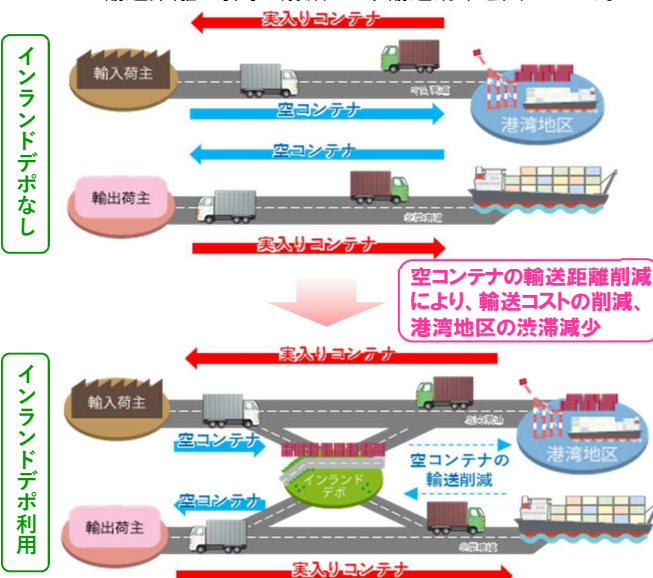
**北関東3県では
全国平均の約2倍の
ペースで工場立地が進展**

2019年の工場立地状況全国順位

県	件数(件)	面積(ha)
茨城県	3位	1位
栃木県	13位	18位
群馬県	4位	4位

インランドデポ活用による輸送効率化

インランドデポでは、輸入に使用した空コンテナを存置し、輸出貨に転用する「コンテナラウンドユース」を実施しており、空コンテナの輸送距離・時間が削減され、輸送効率を図っている。



インランドデポと北関東道との連携の取組み

○佐野インランドポート

「出流原PA周辺総合物流開発整備事業(佐野市)」として、インランドポートを核とし、(仮称)出流原PAスマートIC整備と一体となった総合物流拠点開発整備を推進



出典：出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針(佐野市) 佐野インランドポートHP

○太田国際貨物ターミナル

太田強戸スマートIC整備に合わせて太田国際貨物ターミナルは近隣の工業団地にて追加拡張を行うなど、北関東道との連携が強化

インランドデポと北関東道との連携強化により更なる輸送効率化を図る

地元自治体の声

宇都宮上三川IC周辺において、物流施設をはじめとする企業の立地が進んでおり、今後も民間による産業団地開発の動きがあります。市内に移転を決めた企業からは、「東北方面へのアクセスの良さ」「関西の工場と関東圏とで取引があるため」という立地の良さに関する声をいただいております。



出典：ヒアリング調査(2020年9月実施)